

# ステップ



ここに収録してあるものは親が生まれたての赤ちゃんに話しかける、短い一般的な言葉です。項目ごとにまとめてありますが、固定したものではなく、そのままでも、どの場面からでも、組み合わせで使っていただいても、使い方は自由です。

目標は、言葉というものを全く知らない赤ちゃんに、英語のリズムや音声を体で覚えこませることです。とりわけ、リズムです。発音や言い方は後でも直せますが、リズムがないと英語になりません。

大事なことは、直接、行動に合わせて、繰り返し、しっかりと、赤ちゃんに語りかけることです。コツは、まず日本語でこれから自分が言おうとするものの意味を頭に入れ、文全体を一つの単語のように話すことです。こうすることで、リズムと音声を壊さずに話すことができます。付属のダウンロード音声を参考にしてください。

なお、この時期赤ちゃんの反応は期待できませんが、懐疑的にならず、根気強く語り掛けてください。やがて、赤ちゃんは意味がわからなくとも反応し始めます。

## ラクガキ

\*ここでは桜ちゃんのおじいさんの実践の記録を紹介します。また、おじいさんは解説欄にもちょこちょこ登場してもらいます。そこではおじいさんの面白い持論が聞かれます。ご期待ください。

余談ですが、おじいさんは日本語では「ジジ」と呼ばれていますが、英語でもJijiです。なぜなのか。理由を聞いてみたいですね。

\*腹を決めて始めたこととはいえ、おじいさんはなんと長い無反応に直面し、いろいろ考え

させられます。「いたいけない赤ちゃんにむごい負担を負わせているのではないか」、「赤ちゃんの頭は日本語と英語をどうやって区別するのか」、「赤ちゃんは本当に英語を話し始めるのか」。そして、「今か今か」と反応を待ちました。ところが、桜ちゃんの最初の反応は物音でした。人の声に対する反応はそれからおも暫く時間がかかりました。

それはそうと、桜ちゃんにとっておじいさんがお母さんと同じくらい大事な存在になったのは、授乳や排せつも手伝ったせいかもしれません。

# 1 はじめまして

▶ 音声 001

- ぐっすり眠っているわ。

**You're in a deep sleep.**

- 人生の始まりだね。どんな人生になるんだろうね。

**It's the start of your life. What life will it be?**

- 幸せな人生でありますように。

**I wish you a happy life.**

- あら、お目々開けて。

**Ooh, you opened your eyes.**

眠るのは赤ちゃんの仕事の一つである。You're sleeping well. とも言える。

startはbeginningとしてもよい。後半はWhat kind of life ~? でもよい。itは「あなたの人生」。

wish 人~「人に~を願う」。I wish for your happy life. でもよい。wishは願望で、hopeは希望である。I hope for your wonderful life. 「素晴らしい人生であってほしい」とも言える。

赤ちゃんはこちらの気持ちがあったかのように一瞬目を開けた。 **言いかえ** 「生まれてきてくれてありがとう」Thank you for being born.

## 2 授乳

▶ 音声 002

- ミルクの時間ですよ。

**It's time for milk.**

- こっちにおいで。さあ、飲みましょう。

**Let me pick you up. Here you go.**

- よく飲むわね。

**You drink well.**

- おいちい?

**Is it yummy?**

It's time to drink milk. でもよい。なお、「授乳する」とか「母乳で育てる」は breast-feed で、「調合粉ミルク」formula の場合は bottle-feed と言う。例えば、「母乳ですか、ミルクですか」は **Do you breast-feed or bottle-feed?**

pick ~ up は「拾い上げる」という意味だが、ここでは「ひよいとだっこする」。Here you go. 「はいどうぞ」は人にものを勧める時。

You have a good appetite. とも言える。🗣️ **「おや、まだ飲みたくないの」Um, you don't want to drink yet?**

yummy は形容詞で、good「おいしい」の幼児語。なお、yum とか yum-yum「おいちい、おいちい」という間投詞もある。

# ステップ

## 2



赤ちゃんは起き上がり、はいはいをし、歩き始めます。自我にも目覚め自己主張も出てきます。ここに収録してある言葉は動く赤ちゃんに語り掛けるものです。同じくテキストの追加変更などは自由です。

目標は、ステップ1同様にリズムと音声を大事にしなが、赤ちゃんに言葉と行動の関係を意識させることにあります。では、それをどうやってやるかと言えば、前にも増して赤ちゃんの行動やお母さんの行動に合わせたタイミングのよい言葉掛けです。こうすることで赤ちゃんは特定の言葉と特定の行動の関係を覚えていきます。うまくやるコツは、相当大げさに、褒めてみたり、怒ってみせたり、笑ってみせたり、嘆いてみせたりして、言葉と行動を結びつけることです。根気のいる仕事ですが、赤ちゃんの反応は喜びです。

相変わらず赤ちゃんは話しません、繰り返しているうちに、こちらの言うことに決まった反応を示すようになります。つまり、こちらの言うことがわかっていくということです。こちらの言葉掛け次第では、いたずらもやめるし、お手伝いさえします。いよいよお母さんの口慣らしも怠ってはいられません。

### ラクガキ

申し遅れましたが、桜ちゃんが1才半になる前に弟が生まれました。名前は航平と言いますが、家族はみんな航ちゃんと呼んでいます。桜ちゃんは弟をかわいがっているのですが、時には航ちゃんのミルクをとったり、意地悪したりもします。桜ちゃんは早くも人生の試練に直面することになりました。

おじいさんは娘夫婦に「桜にやったように航平にも同じようにしてください」と言われて、航ちゃんにも桜ちゃんと同じように接しています。航ちゃんはお姉ちゃんと一緒にテレビを見るせ

いか、半年過ぎぐらいからわけのわからないことをワーワー言い始めました。

初めおじいさんは二人のお世話は大変だなと思っていたのですが、実はやってみて全くそうでないことに気付いたようです。桜ちゃんと二人だけではどうにも理解させられないことが、航ちゃんに話し掛けているところを見せるだけで、簡単に理解してくれます。この時期、第三者の話を見せることの効力は想像以上に大です。その内、航ちゃんがおじいさんと桜ちゃんの話話を真似るかもしれません。そして、おじいさんまで航ちゃんの真似をしたりして --- まさか。

## ステップ



赤ちゃん（もう赤ちゃんではないかもしれないが）はこちらの言うことがわかり、それに対し、行動もさることながら、言葉で応えようとします。そして、自分の欲しいものを言葉で言い始めます。いよいよアウトプットの開始です。ここでは英語の音声（意味）を聞き取り、言いたいことを英語のリズムに乗せて作ることが求められます。今までの訓練が鍵になります。

テキストは桜ちゃんをモデルとした赤ちゃんとのやり取りの練習例です。できるだけ他にも応用のきく題材にしてあります。青枠は一応赤ちゃんに期待する部分（覚えこませるのではありません）です。ここまできると臨機応変しかありません。コツは、言いたいことが伝われば「よし」で、できたら思いきり褒めてやることです。そして、できるだけたくさん話させ、喋らせながら直していくことです。なかなか話さないのを「ちょっと日本語で」はだめです。赤ちゃんは聞いていないようでも聞いています。「もうだめだ」と諦めそうになったころにぽつりと話します。

他愛のないことでも英語でやり取りができるようになれば本書の目的は達成です。そして、ステージは次の段階に入ります。

### ラクガキ

\*桜ちゃんはMy First Dictionaryという絵の付いた本を持っていて、これを読んでもらうのが大好きです。それにはワケがあります。例えばrainという項目なら、おじいさんはまず2～3回rainと言い、それからDo you want to see what the rain is like? などと言います。桜ちゃんは嬉々として立ち上がり、おじいさんにだっこします。おじいさんはおもむろに雨の中に出て行き、言います。This is the rain. 間もなく桜ちゃんは雨が降るとLook, Jiji, rain! などと言い始めます。

\*会話ではあまり起こらないのですが、物の名前のような場合、桜ちゃんは時々日本語と英語が交錯します。例えば、お母さんがリンゴのジュースを作ってやろうとして、リンゴをもってくると、桜ちゃんはappleと言います。「これはリンゴだよ」と言ってもなかなか聞きません。そんな時お母さんは「それはジジの言葉でしょう」と言います。同じように、おじいさんも桜ちゃんが会話の中に日本語を持ち込んでくるとThose are Kaka's words. とかThose are Mommy's words. と言います。今ではこれで混乱を回避しています。